

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さくら 上並榎		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日 ～ 令和8年2月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和7年1月17日 ～ 令和8年2月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者一人ひとりに合わせた個別プログラムの実施	利用者一人ひとりに合ったスケジュールを作成し日々の活動を行っている	今後もスタッフ間での情報の共有、支援の統一を図りより良い支援に繋げていく
2	一人ひとりが安心して活動が行えるよう構造化された環境	空間の構造化（勉強する場所、遊ぶ場所を明確にする） 時間の構造化（スケジュールの提示） 活動の構造化（手順の明確化） を基に「一人で最後まで出来た」という達成感を得られるよう取り組んでいる	
3	視覚的支援	個々の活動予定を絵カード、文字カードを使い提示している。 視覚的なスケジュールを用いる事で「今なにをやる時間か？」 「次は何をやるのか？」理解しやすく不安、混乱が少なく活動が行える工夫をしている	保護者様からの情報を基に利用者一人ひとりの特性にあった提示の仕方にも工夫している

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流	障害特性を持つ児童が利用しているため地域の催し物の参加等は難しい	地域交流の場として公園や児童館など外出に積極的に取り入れていく
2	保護者会や保護者、家族向けのイベントの実施	交流を持ちたい保護者と持ちたくない保護者との調和が難しい。 共稼ぎのご家庭が多く開催日時の調整が難しい	講師を招き家族が参加できる講習会の開催を検討していく
3			